



Sustainability Report 2024

目次

編集方針	3
サステナビリティへの取り組み	4

Environment 環境	7	Society 社会	10	Governance ガバナンス	16
気候変動への対応	8	従業員の健康と安全	11	コンプライアンスの徹底	17
温室効果ガス排出量の削減推進	8	労働災害の撲滅	11	公正な事業慣行の徹底	17
環境負荷の低減	9	DE&I	13	安心・安全な製品	18
水消費量適正管理	9	多様性と女性活躍推進	13	安全な製品の提供	18
その他の環境負荷の低減	9	ハラスメントの撲滅と人権の保護	13	情報セキュリティ	19
		育児による就業障害の排除とワークライフバラン スへの配慮	14		
		人材育成	15		
		人的資本への投資拡大	15		
 サステナビリティデータ					
環境	21				
社会	22				
ガバナンス	24				

編集方針

越智製作所は、「あなたの想いに、寄り添い続ける」を基本理念に掲げ、「多様な想いの化粧筆を創造する」という志のもと、さまざまな用途に応じた筆を提供する企業です。

“熊野筆の歴史と伝統”を受け継ぎ、“誠実と謙虚”を重んじ、“心の豊かさ”を社会へ届けられる組織を築き上げ、従業員一丸となって広く社会に貢献していくことをめざしています。

本レポートは、越智製作所の持続可能な社会への取り組みと実績をステークホルダーの皆様にお伝えするために編集しました。

対象範囲

本レポートは、越智製作所グループ（株式会社越智製作所、および子会社）を対象としています。報告範囲は個別に対象を記載します。

対象組織

本社	株式会社越智製作所
中国工場	天津東方粧材有限公司
ラオス工場	LAO OCHI COSMETIC BRUSH Co., Ltd.

対象期間

2024 年 1 月～2024 年 12 月

一部 2025 年の活動内容も含みます。

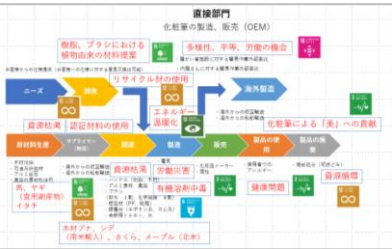
発行時期

発行日: 2025 年 7 月 31 日

次回発行予定: 2026 年 7 月（前回 2025 年 7 月 30 日）

サステナビリティへの取り組み

越智製作所は、持続可能な発展を目指す基本中期計画として「SDGs 事業統合戦略計画 - SDGs アクションプラン 2030-」（対象期間：2030 年 12 月まで）を 2023 年に策定しました。ESG（環境・社会・ガバナンス）に関する越智製作所の取り組みの決定と SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた成果の報告を目的とし、事業を通して直面するさまざまな社会課題にどのように取り組み、社会課題解決にどう繋げていくのかを示したものです。



ISO26000 の中核主題および SDGs の 17 の目標をベースに事業活動から社会課題を抽出し、バリューチェーンマッピングと重要度評価を行い、越智製作所にとって重要な課題（マテリアリティ）を特定しました。

マテリアリティそれぞれの領域で取り組みテーマを定め、2030 年までの達成を目指した中期目標を設定しました。目標実現に対する取り組みを実施することで、サステナビリティ活動を推進しています。

方針

越智製作所は 2023 年 4 月、社会的責任を果たし発展していくことを目指し、サステナビリティ方針を制定しました。

サステナビリティ方針

制定日： 2023 年 4 月 1 日
改定日： 2024 年 4 月 1 日

株式会社越智製作所は、経営活動を通して、社会に対して責任を果たし、社会とともに発展していくために以下の方針を掲げる。この方針は、海外工場も含む当社グループおよび関連する場合には当社のお取引先についても適用することとする。

サステナビリティ基本方針

株式会社越智製作所は、熊野筆の歴史と伝統を受け継ぎ、化粧筆の製造・販売を通して社会課題の解決を目指し、持続可能な社会づくりに貢献するために、以下の事項に取組みます。

1. 当社のみならず、当社の取引先を含め、すべての人々の人権を尊重します。
2. 従業員の健康・安全を第一に考え、労働環境の向上に努め、多様性を重視し、人材活躍推進に取り組めます。
3. 従業員は当社にとって最も重要な資本であり、従業員の能力開発やキャリアアップのための枠組みを確立し、教育訓練や支援策への投資を推進することで組織の能力向上に努めます。
4. 良心に基づいた倫理判断で公正な職場と健全な取引関係を構築、並びに適正な労働条件の提供に努めます。
5. 私たちの事業活動は地球環境に依存しており、生物多様性を含む地球環境の保全と気候変動問題の改善ならびに持続可能な調達に努めます。また、私たちは錫、タンタル、タングステン、金などの紛争鉱物は一切使用しません。
6. 事業展開する国・地域の文化・慣習を尊重し、地域社会との調和に努めます。

7. 安全・安心に使用できる高品質の製品を提供し、お客さまおよび化粧筆を使用するみなさまの精神的健康と美に貢献します。
8. 児童労働・強制労働・人身売買の撲滅に努め、当社ではこれらに関わらないことを約束します。
9. 法令を遵守し、腐敗防止と堅牢なガバナンス体制の構築、維持を約束します。

倫理方針・行動規範

【倫理方針】

株式会社越智製作所は良心に基づいた倫理判断で公正な職場と健全な取引関係を築きあげ、仕事を通して社会の発展に貢献していきます。ビジネスはフェアであることを基本とし、社会を豊かにすることを使命とします。

【行動規範】

1. 法令及び企業倫理の遵守 私たちは、法令を遵守し、公明正大な企業活動を推進します。また、事業活動に関係する各国の法令に対応するため社内体制を整備し、その周知徹底と遵守に努めます。
2. コンプライアンス通報窓口と通報者の保護 社内規程に基づき、法令違反行為等に関する通報窓口を設置しています。不正行為等の早期発見と是正に努めるとともに不正行為が明らかになった場合には、速やかに是正措置および再発防止措置を講じます。また、通報者等に対しては、いかなる不利益な取扱いも行いません。
3. 贈収賄等の防止 公明正大な企業活動を継続するため、贈収賄、強要、その他の形態による腐敗的行為並びに資金洗浄（マネー・ロンダリング）に関わることは行いません。
4. 過剰な贈答・接待の禁止 コンプライアンス・マニュアルを遵守し、常識の範囲を超えるような贈答や接待を行いません。また、お取引先様からの接待・贈答などの提供の申し入れに対して慎重に対応し、個人的な利益供与は受けません。

5. 情報開示 当社グループのすべてのステークホルダーの皆様に対して、企業情報を適時・適切に開示し、企業経営の透明性の確保に努めます。
6. 知的財産権の保護 自らによって生み出された知的財産を適正に権利化し、活用することにより企業価値の向上を図ります。また、知的財産権を尊重し、他者の権利を無断で使用したり、自らの権利を濫用することはいたしません。
7. 公正な営業活動の実践 グローバルに事業活動を行うにあたり、各国の法令を遵守します。ビジネスはフェアであることを基本とし、不正取引、反競争的行為を排除し、公明正大な取引を行います。

労働安全衛生方針

株式会社越智製作所は、職場の安全と従業員の健康を守り、事故・災害「ゼロ」実現のため全社一丸となって安全衛生活動に取り組みます。

また、従業員の労働環境に常に配慮し、適正な労働条件の提示と従業員の人権と権利の保護、および対話を促進することで、より良い職場づくりを目指します。

【労働安全衛生基本方針】

1. 全従業員が安全最優先の考え方や行動がいつでも自然にできるよう、社内での教育・情報伝達等を行います。
2. 業務実施にあたっては、いついかなる場合でも安全の基本ルールを守り、不安全行動・不安定状態を徹底的に排除します。
3. 従業員の心と体の健康保持増進のため、健康診断やコミュニケーション等を通じた健康管理、メンタルヘルス対策を推進します。
4. 従業員の適正な労働条件・環境の維持、改善と、人権・権利の保護のために従業員代表と定期的な対話の機会を設けるとともに、すべての従業員からの要望に耳を傾け、よりよい職場づくりを目指します。

環境方針

株式会社越智製作所は、地球環境・自然資本に依存していることを自覚し、限られた資源の有効利用、取水・排水、廃棄物、大気など環境への負荷軽減、地球温暖化対策、人や生物への健康と安全への配慮に努めます。この方針は、当社のみならず、当社の取引先、当社の製品の使用者やステークホルダーを幅広く考慮します。

【環境基本方針】

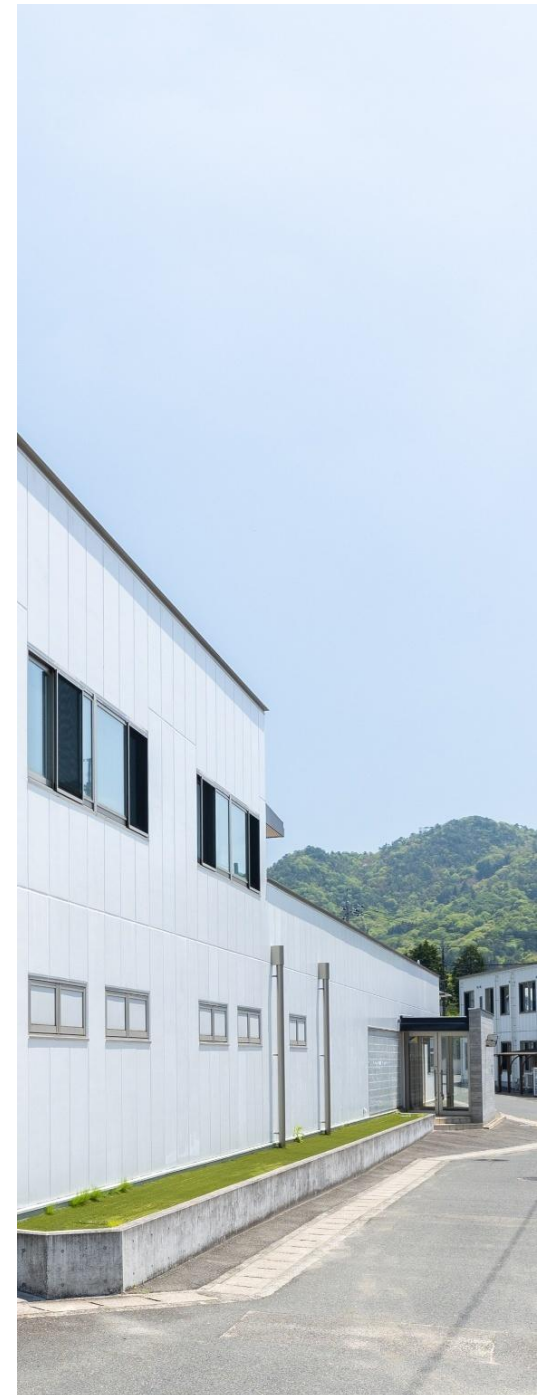
1. 環境関連法規制、条例、協定及びその他の要求事項を遵守し、環境負荷の低減、化学物質等に伴う環境汚染の防止・適切な取り扱いに努めます。
2. エネルギー使用量の削減に努め地球温暖化対策として、CO2 削減に努めます。
大気汚染を防止するため、エコドライブの実践、最新規制適合ディーゼル車や低公害車の導入を推進します。
3. 使用する原材料等について、持続可能な調達及び消費に努めます。
4. 環境教育、啓発活動を通じて全従業員に本方針を周知するとともに、社員の環境保全意識の向上を図り、地域の環境保護活動に積極的に貢献します。
5. 原材料、副資材、水など資源の有効利用を念頭に削減に努め、廃棄物の発生抑制、適正処理、リサイクルを推進します。これにはお客様が使用した後の製品においてもリユース・リサイクル可能な製品となるような製品設計上の考慮もすすめていきます。
6. 環境目標を定め、定期的に見直すことにより、環境保全活動の継続的な改善に努めます。

Environment

環境

気候変動への対応

環境負荷の低減



越智製作所の事業活動は地球環境に依存しており、気候変動の影響は社会や事業に大きな影響を与えることから、重要な課題と認識しています。

温室効果ガス排出量の削減推進

目標と実績

越智製作所は、温室効果ガス削減を、2030年までに2019年に比べ20%削減する目標を立てています。2024年の温室効果ガス排出量は、2019年に比べて-30.5%でした。

温室効果ガス削減率

指標	基準年	実績			目標年
	2019年	2022年	2023年	2024年	2030年
Scope 1 + 2 削減率	-	23.1 %	20.4 %	30.5 %	20 %
Scope 1 削減率	-	31.2 %	28.5 %	39.8 %	-
Scope 2 削減率	-	21.6 %	18.9 %	28.7 %	-

対象：グループ全体

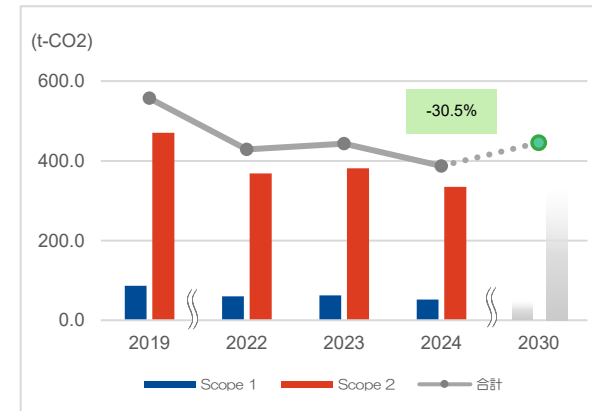
温室効果ガス排出量推移 (単位: t-CO2)

指標	基準年	実績		
	2019年	2022年	2023年	2024年
Scope 1 排出量	86.7	59.7	62.0	52.2
Scope 2 排出量 ※1	470.0	368.5	381.2	334.9
合計	556.7	428.2	443.2	387.1

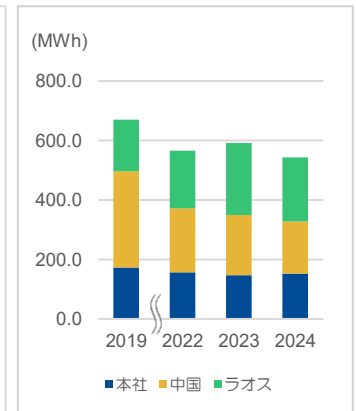
対象：グループ全体

※1: マーケット基準

温室効果ガス排出量 (グループ全体)



電力使用量 (拠点ごと)



2023年に中国工場でガソリン車から電気自動車への切り替えたことで、ガソリンの消費量が減りました。また、年間を通して気温が高いラオス工場では、冷房効率を上げるために従業員が働くエリアだけにエアコンが効くよう、2024年に広い作業エリアをビニールカーテンで区切り、電力使用量を約16%削減しました。

2024年12月に本社では省エネ研修を実施しました。照明はすべての拠点でLED化しています。



ラオス工場のビニールカーテン

LED ライト

水消費量適正管理

業務で水を使う業務はあまり多くありませんが、水使用量をモニタリングし、水資源の有効活用につとめています。

取水量の実績

拠点	2022 年	2023 年	2024 年
本社	644.0 m ³	657.0 m ³	572.0 m ³
中国工場	1,549.2 m ³	1,664.0 m ³	1,594.0 m ³
ラオス工場 ※1	-	234.0 m ³	524.0 m ³
合計	2,193.2 m ³	2,555.0 m ³	2,690.0 m ³

※1: ラオス工場は 2023 年 5 月から集計開始

中国工場では、成形機で冷却水を再利用する水循環システムを導入しています。また、浄水処理装置で廃水を浄化し、水洗トイレの洗浄水として再利用しています。

成形機



浄水処理装置



その他の環境負荷の低減

騒音対策

作業工程は手作業が多いため、近隣の方に迷惑になる騒音は発生しづらいですが、騒音の発生源となるコンプレッサーを室内に設置したり、モーターに囲いを設けたりして、騒音となりにくいようにしています。

指標	2022 年	2023 年	2024 年
騒音クレーム件数	0 件	0 件	0 件

対象：グループ全体

本社では騒音測定を年 2 回実施し、周辺環境への騒音となっていないか確認しています。

大気汚染対策

中国工場では VOC 除去装置を設置し、大気汚染の防止につとめています。

環境負荷の低い製品へ

OEM メーカーとして、金属を使わないブラシ、リサイクルしやすい接着剤不使用のオールプラスチックブラシ、バイオ素材など、環境負荷の低い製品の提案をおこなっています。また、プラスチックから FSC 紙パッケージへの切り替えを、顧客の要望に応じておこなっています。



オールプラスチックブラシ

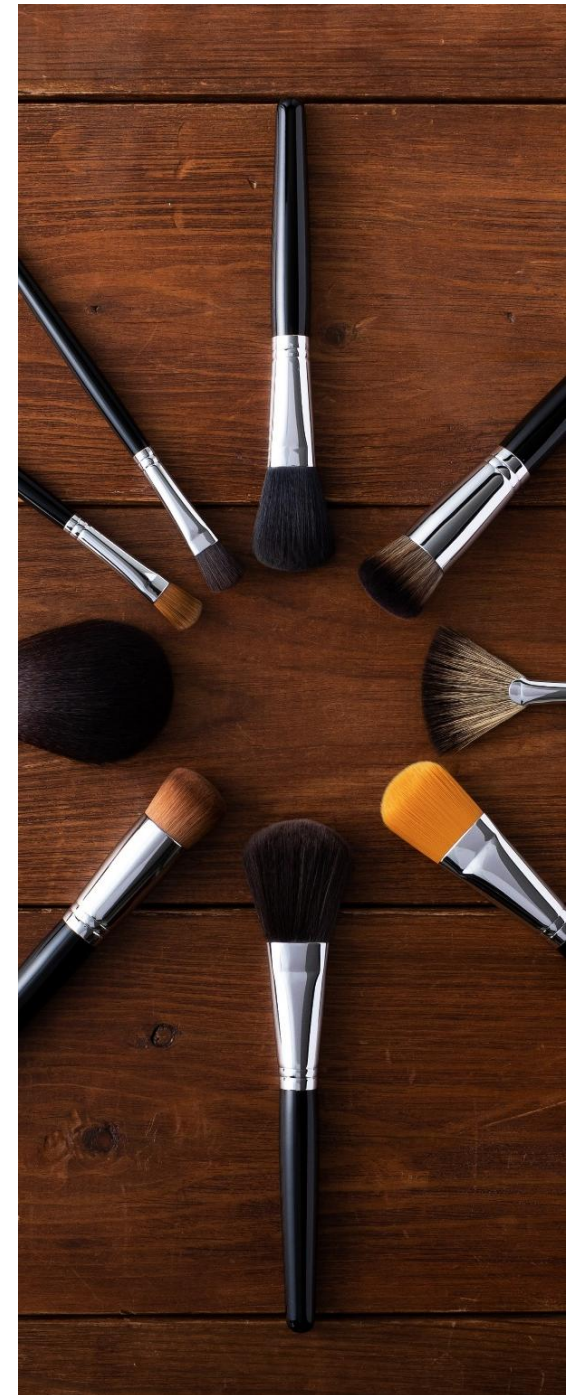
Society

社会

従業員の健康と安全

DE&I

人材育成



越智製作所にとって従業員は重要なステークホルダーであり、安全な職場環境の整備と、従業員の健康を守ることは、重要な課題と認識しています。

労働災害の撲滅

指標と実績

労働災害度数率と強度率をモニタリングし、数値の改善を目指しています。

指標	対象	2022 年	2023 年	2024 年
労働災害度数率	全体	-	2.51	2.55
	本社	0.00	7.13	7.03
労働災害強度率	全体	-	0.30	0.01
	本社	0.00	0.85	0.02

※ 全体での集計は 2023 年開始

労働災害の発生状況

指標		2022 年	2023 年	2024 年
死亡災害		0 件	0 件	0 件
休業災害	1～3 日	0 件	0 件	1 件
	4 日以上	0 件	1 件	0 件

対象：グループ全体

2024 年は本社で労働災害が発生しました。全従業員を対象に、発生した設備の研修を実施し、再発防止につとめました。

安全衛生管理体制

本社では安全衛生委員会の管理のもと、安全衛生活動を展開しています。衛生管理者の職場巡視や従業員へのヒヤリング、従業員からのヒヤリハット報告などから安全衛生に関する懸念を吸い上げ、解消する仕組みを設けて改善をおこなっています。



改善例（ドアに開閉注意のステッカー、配線の整理、洗眼液・セーフティグラスを常備）

生産部門では従業員のヒヤリハットをもとに月に一度の安全衛生会議を実施し、ヒヤリハットの振り返りと危険予知活動、および改善をおこなっています。また、作業方法を新規に採用したときはリスクアセスメントを実施し、作業者に負担がかからない作業を採択しています。



ヒヤリハット例

中国工場では安全委員会が安全制度の制定、工場の検査や危険作業の監督、避難訓練の計画・実施などを行い、安全衛生活動を推進しています。

訓練

2024 年は、本社および中国工場で、避難訓練と消火器訓練を実施しました。



また、本社と中国工場では、有害物質を取り扱う現場に排気装置を設置しています。有害な接着剤を使用する手元から排気し、人体への有害物質の曝露を低減するものです。



化学物質管理

ブラシを組み立てる工程や印刷する工程で、危険有害性のある化学物質を使用します。従業員の健康被害とならないよう、リスクアセスメントとリスク低減措置を進めています。

本社では、2024 年 4 月に化学物質の取り扱い業務に関わる従業員を対象に、化学物質管理に関する知識の習得を目的とした研修をおこないました。

中国工場では、従業員の有害物質への曝露を低減するため、接着後の製品の保管を密封式の棚で行っています。棚の中の有害物質は排気パイプを通り、VOC 除去装置を通して環境への有害性を低減した上で外に排出されます。



密封式の棚

性別や年齢、民族、国籍などにかかわらず、従業員ひとりひとりが能力を最大限に発揮することは、事業の発展にとっても重要です。越智製作所は日本、中国、ラオスに展開しており、グローバルな人材が活躍しています。差別のない職場環境を整備することが、重要と考えます。

多様性と女性活躍推進

指標と実績

指標	2022 年	2023 年	2024 年
全従業員における女性率 ※1	81.0 %	81.4 %	80.9 %
管理職における女性率	50.0 %	50.0 %	50.0 %
女性社員率に対する女性管理職率 ※2	68.6 %	67.7 %	68.4 %
役員における女性率	60.0 %	60.0 %	60.0 %

対象：グループ全体 (12/31 時点)

※1: フルタイム以外の従業員も含む

※2: 正社員のみを対象に、全拠点の加重平均で算出

女性従業員の割合は高く、管理職の女性率も高いですが、女性従業員の比率に対しての女性管理職割合は低い状況です。

性別などの属性にかかわらず、働きやすい組織づくりを目指します。

ハラスメントの撲滅と人権の保護

ハラスメントは個人の尊厳を不当に傷つける社会的に許されない行為であるとともに、個人の能力の発揮を妨げ、職場秩序や業務の遂行を阻害する問題です。越智製作所は、あらゆるハラスメントを撲滅し、働きやすい労働環境の整備と人権の保護を徹底することを目指しています。

方針

越智製作所はハラスメント防止方針を定め、従業員に周知しています。

防止措置

2024 年 12 月に「気持ちよく働いて成果を出す職場に」を目指し、本社全従業員を対象としたハラスメント研修を実施しました。2025 年 3 月には、ハラスメントアンケートを実施し、社内のハラスメント発生状況と研修の効果を確認し、結果を社内に公表しました。



また、ハラスメントの早期発見と未然防止を目的とした通報・相談窓口を社内に設置し、従業員に周知しています。

育児による就業障害の排除とワークライフバランスへの配慮

越智製作所には育児や子育て、介護世代の従業員も多く、従業員のワークライフバランスを向上のためにも、休業や休暇が取得しづらい職場環境であることが重要と考えます。

指標と実績

指標	性別	2022 年	2023 年	2024 年
産前産後休業取得率	女性	100.0 %	100.0 %	100.0 %
育児休業取得率	男性	100.0 %	0.0 %	-
	女性	100.0 %	100.0 %	100.0 %
育児休業取得者の復職率	男性	100.0 %	-	-
	女性	100.0 %	100.0 %	50.0 %
育児・介護による時短勤務	男性	0 人	0 人	0 人
	女性	1 人	0 人	0 人

対象：本社

越智製作所では、女性だけでなく男性への育児休業の取得も推進しています。また、ハラスメント防止方針にて、育児休業取得者へのハラスメント防止を明記しています。

育児休業取得希望者に対する取得率は、統計を取りはじめた 2020 年以降、男女ともに 100% です。

ワークライフバランスへの配慮

越智製作所は、部署や時期にかかわらず、有給休暇の取得を推進しています。2024 年 6 月に、従業員からの要望を受け、時間単位の年次有給休暇制度を開始しました。年間 5 日を上限に、1 時間単位の年次有給休暇の取得が可能な制度です。子育てでの急な遅刻や、病院への通院のための早退などにも利用されています。

指標	2022 年	2023 年	2024 年
年次有給休暇取得率 ※1	96.1 %	108.4 %	105.3 %

対象：本社

※1: 有給休暇取得日数÷有給休暇付与日数×100 で算出。取得日数には前年度繰越分も含むため、取得率は 100% を超える。

従業員やその家族の誕生日に合わせて特別有給休暇を付与する誕生日休暇制度も導入しており、本社全従業員が取得しています。

年間休を 2023 年から段階的増やし、2025 年からは完全週休二日制にしています。労働環境の改善と、給与のベースアップを目的としています。

また、所定外労働時間の管理を行い、労働環境の改善をおこなっています。業務改善を通して、残業時間の削減を進めています。

指標	対象	2022 年	2023 年	2024 年
一人当たりの所定外労働時間 月平均	正社員	10.4 h	8.4 h	9.4 h
	全従業員	3.0 h	2.2 h	2.9 h

対象：本社

人材の教育を推進し個人の能力を伸ばすことは、従業員の意欲の向上だけでなく、組織力の強化にも繋がり、事業にとっても重要と考えます。

人的資本への投資拡大

指標と実績

指標	対象	2022 年	2023 年	2024 年
一人当たりの平均研修受講時間 ※1	全体	-	1.5 h	2.7 h
	本社	1.1 h	2.0 h	6.1 h
総研修時間 ※2	全体	-	347.7 h	564.4 h
	本社	115.3 h	194.2 h	466.4 h
資格取得支援件数		1 件	3 件	6 件

対象：グループ全体

※1: グループ全体での集計は 2023 年開始。従業員数は 2024 年から FTE 換算。

※2: グループ全体での集計は 2023 年開始

2023 年以降、本社では社内研修の実施を増やしています。

また、本社では 2023 年に資格取得支援と資格手当の枠組みを決め、2024 年から手当の支給をはじめ、従業員の資格取得の件数が伸びました。

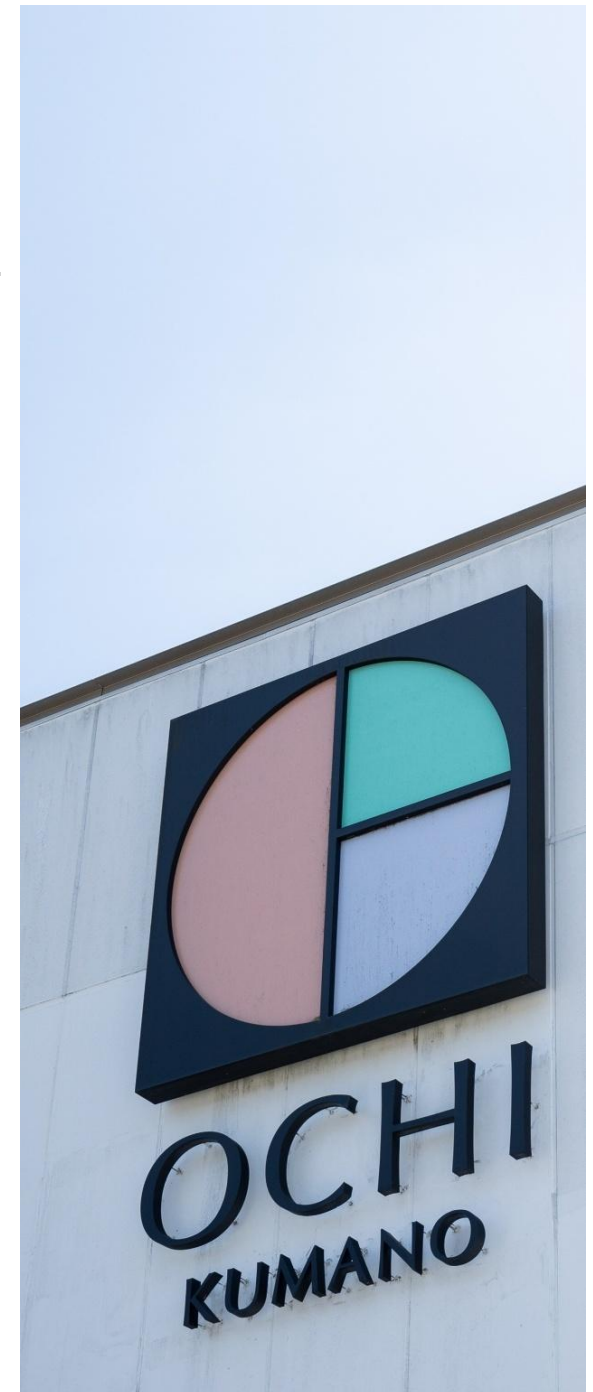
Governance

ガバナンス

コンプライアンスの徹底

安心・安全な製品

情報セキュリティ



企業倫理と法令遵守を徹底することは、企業にとって言うまでもなく重要です。コンプライアンス意識の高い企業文化を形成することは、不祥事を未然に防ぐなどリスク管理になるのみならず、従業員にとって働きやすい職場環境を形成することにもつながります。

越智製作所は公正な事業慣行を徹底し、企業としての社会的責任を果たしてまいります。

公正な事業慣行の徹底

目標と実績

社内研修の実施を通し、コンプライアンス意識の高い企業風土の形成を目指しています。

指標	対象	2022 年	2023 年	2024 年
企業倫理に関する教育実施回数	本社	1 回	2 回	2 回
	海外	0 回	0 回	0 回
倫理に関する教育を受けた従業員率	本社	29.0 %	98.9 %	95.7 %

教育

2024 年 12 月に、本社でコンプライアンス研修を実施しました。コンプライアンス違反の事例も紹介し、相談・通報窓口の周知も行いました。



通報・相談窓口

越智製作所では、2024 年 2 月に企業倫理通報・相談窓口を設置し、社内と社外に発表しました。

指標	2024 年
企業倫理通報・相談件数	1 件
重大なコンプライアンス違反件数 ※1	0 件

対象：グループ全体

※1: 事業に重大な影響を与え、企業価値を大きく毀損するコンプライアンス違反

寄せられた通報・相談のうち、重大なコンプライアンス違反は 0 件でした。

顧客・消費者に安全な製品を提供することは重要です。また、近年 EU を中心に化学物質規制が強化されており、適切な情報開示を行い、顧客の安心と信頼を得ることも重要と考えます。

越智製作所は、顧客と消費者に安心・安全な製品を提供し、透明性のある情報開示を進めます。

応じ、SDS（安全データシート）や安全確認資料の提供をしています。

安全な製品の提供

指標と実績

越智製作所は、お客様における当社製品の使用による健康被害の撲滅につとめています。健康被害発生件数をモニタリングし、発生抑制と改善につなげます。

指標	2022 年	2023 年	2024 年
アレルギー被害件数	0 件	0 件	0 件
健康被害件数	0 件	0 件	0 件

対象：グループ全体

品質管理体制

本社品質管理課を主管部門として、海外工場の品質管理課や各拠点の生産管理部をはじめとした生産部門と連携し、品質管理体制を構築しています。

情報開示

EU の REACH 規則や PFAS の規制をはじめ、世界的に化学物質規制は強化されていますが、越智製作所でも、顧客に対して適切な情報開示に取り組んでいます。顧客の求めに

機密情報の流出や改ざんといった情報セキュリティインシデントは、越智製作所のみならず関連企業やサプライチェーンにまで被害や影響が及ぶおそれがあります。近年、ランサムウェアの攻撃により事業活動が停止する事例が国内でも数多く発生しており、事業を中断のリスクでもあります。

越智製作所は、情報セキュリティのリスク管理を重要な課題と認識し、継続的改善を進めます。

情報セキュリティ

インシデント発生状況

指標	2022 年	2023 年	2024 年
情報セキュリティインシデント件数	1 件	0 件	0 件

対象：2022 年本社、2023 年からはグループ全体

2022 年のインシデント発生以降、社内管理体制を強化し、インシデントの発生防止につとめています。

方針

2023 年に情報セキュリティ基本方針を制定しました。

情報セキュリティ基本方針

株式会社越智製作所（以下「当社」）は、お客様からお預かりした情報資産を活用し、製品の提供を行っています。お客様の信頼を得るため、維持するためには、事業活動で用いる情報資産を適切に保護し、取り扱うことが重要な課題と考えます。

この現状認識から、当社では以下の方針を制定し、全社的に継続的改善に取り組むことを宣言します。

1. 法令および契約上の要求事項の遵守

当社は、情報セキュリティに関する法令、規制、規範、ならびに契約上のセキュリティ義務を遵守します。

2. 社内体制の整備および継続的改善

当社は、情報セキュリティの維持および改善のために管理体制の構築、運用し、継続的に改善します。

3. 情報セキュリティ教育の実施

当社は、すべての役員および従業員が情報資産の適切な取り扱いのために必要とされる知識や感覚、技術を持ち、これらの基づき行動するために情報セキュリティに関する教育を実施します。

4. 違反および事故への対応

当社は、情報セキュリティに関わる法令違反、契約違反および事故が発生した場合には、適切に対処し、再発防止に努めます。

制定日：2023 年 2 月 1 日

株式会社越智製作所

代表取締役社長 越智 清太郎

情報セキュリティ管理体制

越智製作所では、代表取締役を責任者とした情報セキュリティ社内管理体制を設けています。年間計画の作成および管理、教育計画の立案・実施、セキュリティの見直しや改善活動をおこなっています。計画は、社内 **KPI** で管理しています。

リスク管理

リスクアセスメントを年 1 回実施し、リスクを特定しています。結果をもとに、リスク低減措置を実施し、改善につなげています。2024 年 1 月には、工場見学者からの情報漏洩懸念の声を従業員から受け、工場見学受け入れルールを策定し、運用しています。

教育

2024 年 2 月、本社でパソコンユーザーを対象に情報セキュリティ研修をおこないました。身近な事故事例を交え、情報セキュリティの危険性を自分ごととして認識する機会を設けました。

2024 年 12 月には本社全従業員を対象に、情報漏洩の危険性と対策を中心とした研修を実施しました。



サステナビリティデータ

環境		2022 年	2023 年	2024 年	対象
エネルギー					
温室効果ガス排出量 (t-CO2)	Scope1	59.7	62.0	52.2	グループ全体
	Scope2 マーケット基準	368.5	381.2	334.9	
	Scope2 ロケーション基準	350.9	363.7	320.2	
総エネルギー使用量 (MWh)		813.2	848.8	754.4	グループ全体
電力使用量 (MWh)	通常電力	566.1	592.2	543.0	グループ全体
ガソリン使用量 (L)		24,956.8	26,203.8	22,301.2	グループ全体
軽油使用量 (L)		390.6	266.0	208.0	グループ全体
灯油使用量 (L)		294.7	185.1	210.2	グループ全体
LPG 使用量 (m ³)		5.8	4.9	5.9	グループ全体
水					
取水量		2,193.2 m ³	2,555.0 m ³	2,690.0 m ³	グループ全体 ※1
排水量		2,193.2 m ³	2,555.0 m ³	2,690.0 m ³	グループ全体 ※1

※1: 本社と中国工場は全年度集計、ラオス工場は 2023 年 5 月から集計開始

社会		2022 年	2023 年	2024 年	対象・備考
多様性と包括性					
従業員数	全体	237 人	226 人	230 人	グループ全体 (12/31 時点)
	男性	45 人	42 人	44 人	
	女性	192 人	184 人	186 人	
女性従業員比率		81.0 %	81.4 %	80.9 %	グループ全体 (12/31 時点)
役員における女性比率		60.0 %	60.0 %	60.0 %	グループ全体 (12/31 時点)
管理職における女性比率		50.0 %	50.0 %	50.0 %	グループ全体 (12/31 時点)
女性社員率に対する女性管理職率	全体 ※1	68.6 %	67.7 %	68.4 %	正社員のみを対象 / グループ全体 (12/31 時点)
	本社	53.3 %	51.1 %	50.0 %	正社員のみを対象 / 本社 (12/31 時点)
障がい者雇用人数		1 人	1 人	1 人	本社
産前産後休業取得率		100.0 %	100.0 %	100.0 %	本社
育児休業取得率	男性	100.0 %	0.0 %	-	本社
	女性	100.0 %	100.0 %	100.0 %	
育児休業取得者の復職率	男性	100.0 %	-	-	本社
	女性	100.0 %	100.0 %	50.0 %	
育児・介護による時短勤務取得人数		1 人	0 人	0 人	本社
年次有給取得率		96.1 %	108.4 %	105.3 %	本社
一人当たり年間総労働時間	全体	1,258.4 h	1,597.4 h	1,669.9 h	2022 年本社、2023 年からはグループ全体
	正社員	1,824.7 h	1,853.4 h	1,828.0 h	2022 年本社、2023 年からはグループ全体
一人当たり所定外労働時間 月平均	全体	3.0 h	2.2 h	2.9 h	本社
	正社員	10.4 h	8.4 h	9.4 h	

※1: 全拠点の加重平均で算出

社会	2022 年	2023 年	2024 年	対象
労働安全衛生				
死亡災害	0 件	0 件	0 件	グループ全体
休業災害	0 件	1 件	1 件	グループ全体
休業災害度数率	0.00	2.51	2.55	2022 年本社、2023 年からはグループ全体
休業災害強度率	0.00	0.30	0.01	2022 年本社、2023 年からはグループ全体
健康診断受診率	100.0 %	94.1 %	97.8 %	本社
ストレスチェック受検率	99.0 %	100.0 %	100.0 %	本社
キャリアマネジメント				
教育・研修 合計時間 ※1	115.3 h	347.7 h	564.4 h	2022 年本社、2023 年からはグループ全体
一人当たり平均研修受講時間 ※1・2	1.1 h	1.5 h	2.7 h	2022 年本社、2023 年からはグループ全体

※1: 昨年分から 2023 年集計を修正

※2: 2024 年から従業員数を FTE 換算して算出

ガバナンス		2022 年	2023 年	2024 年	対象
コンプライアンス					
倫理教育を受けた従業員の割合	本社	29.0 %	98.9 %	95.7 %	
	グループ全体	-	41.6 %	39.1 %	
企業倫理通報・相談件数		-	-	1 件	グループ全体
重大なコンプライアンス違反件数 ※1		-	-	0 件	グループ全体
情報セキュリティ					
情報セキュリティインシデント数		1 件	0 件	0 件	2022 年本社、2023 年からはグループ全体
品質保証					
アレルギー被害件数		0 件	0 件	0 件	グループ全体
健康被害件数		0 件	0 件	0 件	グループ全体

※1: 寄せられた通報・相談のうち、事業に重大な影響を与え、企業価値を大きく毀損するコンプライアンス違反